

川之江信用金庫

企業概要

代表者 / 理事長 日浦 博基
業 種 / 金融業
設 立 / 昭和 23 年 10 月 9 日
所在地 / 愛媛県四国中央市川之江町 1706 番地 1
連絡先 / 0896-58-1300 E-mail : kawashin@kawanoe.shinkin.jp

SDGs 達成に向けた取り組み

地場産業（伊予水引・金封）支援プロジェクト



【目的・背景】

四国中央市の地場産業である伊予水引は、飯田水引（長野県飯田市）と並ぶ水引の 2 大産地として、日本の水引伝統文化の継承に大きく貢献してきたものの、少子高齢化、人口減少、冠婚葬祭行事の簡素化、安価な海外製品の流入等により、需要は減少傾向にあります。加えて、コロナ禍において、冠婚葬祭をはじめ各イベントの延期や中止により、水引・金封取扱事業者は苦境に立たされています。

かかる状況下、地域金融機関として地場産業の維持・発展に向けた積極的なサポートを行うべく、主として伊予水引金封協同組合と連携を取り、販路開拓等の産業面および伝統工芸品の継承としての文化面の両面から支援を行うこととしました。その支援にあたり、愛媛県（観光国際課・営業本部）よりシトラスリボンプロジェクトを紹介していただき、新型コロナウイルス感染症に関する差別の防止を目的としたシトラスリボンプロジェクトに賛同し、シトラスリボン運動の理解と伊予水引の認知度を向上させる取り組みを開始するに至りました。

【実施時期・具体的な内容】

令和 3 年 4 月から、伊予水引金封協同組合ならびにシトラスリボンプロジェクト本部と連携のうえ、信用金庫のネットワークを活かして、当金庫から全国の信用金庫や中央機関である信金中央金庫等に対し、水引シトラスリボン運動への理解を呼びかけるとともに、各メディア（テレビ・新聞など）や SNS（LINE など）、当金庫のホームページ内で積極的な発信を行いました。さらに当金庫は全国の信用金庫等からシトラスリボンの注文を受け、伊予水引金封協同組合に取り次ぎ、全国津々浦々の本取組賛同者と四国中央市の水引産産を繋ぐ役割を担いました。

また、当金庫内でシトラスリボンのワークショップ（令和 3 年 4 月 14 日）も行い、役職員の人権意識向上と水引産産への理解深化を図りました。

【成果】

メディア放映や新聞記事掲載等により多くの反響があり、全国の信用金庫関係者をはじめとする多くの方から賛同をいただき、6 か月の注文受付期間で 1,392 個の注文をいただきました。

さらに、水引シトラスリボンをつけている信用金庫職員を見て、シトラスリボンプロジェクトに関心を持っていただいた方も多く、シトラスリボンの輪が拡大しています。

また、本取組みを通じ、他地域の信用金庫との関係を深めることができました。ここで培われた関係をもとに、信用金庫同士で互いの地域の特産品を取り次いで販売し合う、地元生産者を巻き込んだ取組みを行うなど、現在でもその輪は広がっています。

本取組みの結果、多くの方に水引シトラスリボンを注文していただいたことや、人権意識の啓蒙が図られたこと、多数のメディアに注目していただけたことなど、沢山の成果が得られました。中でも、コロナ禍が収束した後においても生き続けるであろう「水引とシトラスリボンが結んだ縁」こそ、本取組みで得た何にも代え難い成果です。

